一般社団法人ラテンアメリカ協会

2021年度定時会員総会

資料

一般社団法人 ラテンアメリカ協会

〒100-0011　東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 120A(1 階)

一般社団法人　ラテンアメリカ協会

第 9回定時会員総会 次第

日時 2021年 6 月 25 日(金)AA:BB～

場所 三菱商事株式会社 会議室

東京都千代田区丸の内二丁目 2番 1号

1. 開　会

2. 審議事項

第 1 号議案　2020年度事業報告書の件・・・・・【報告事項】

第 2 号議案　2020年度決算書類承認の件・・・【決議事項】

第 3 号議案　2021年度事業計画の件・・・・・・・【報告事項】

第 4 号議案　2021年度収支予算の件・・・・・・・【報告事項】

第 5 号議案　理事選任の件 ・・・・・・・・・・・・・【決議事項】

3. その他

4. 閉会

2021年6月25日
一般社団法人ラテンアメリカ協会

一般社団法人ラテンアメリカ協会
2021 年度定時会員総会 議案説明書

第１号議案 2020年度 事業報告書 **【報告事項】**	定款の規定に基づき、「2020年度事業報告書」は理事会で承認済。 2020年度末会員数は、期首比、個人 17名増、法人 2 社増、他（在外会員・学生・大使館・図書館）増の計 30増の 370 名・団体（個人 235 名、法人 78 社、他）となった。主たる事業活動である講演会・セミナーは、新型コロナ禍の影響で 4月以降 9月まで開催出来ず、10月以降リモート（ZOOM）方式により再開した。講演会12件（参加者592名・共催除く）、ラテンアメリカ・カリブ研究所の大来記念政策フォーラム3 件（参加者102名）、IADの共催セミナー1件（非公開ラウンドテーブル3回：参加者173名、公開セミナー1回：参加者310名強）開催した。季刊誌「時報」はコロナ禍にも係わらず四半期毎の発行を継続した。
第 2 号議案 2020 年度 決算書類承認 **【決議事項】**	＜前年度比：正味財産増減計算書（経常収支）より＞ ＜予算比：収支計算書より＞ 会費収入は、2019年度から2020年度に掛けて法人会員4社減となったが一部法人会員の口数増、又個人会員の4名減はあるものの年会費を8千円から1万円への増額などにより前年度比116万円増（予算比103万円増）となった 事業活動収入では、「時報」直売は略横ばい、講演会・セミナー収入はオンラインのため非会員参加費千円のみで、前年度比・予算比大幅減、受託事業は前年度と同様受託なし、雑収入のIADセミナーは首尾よく確保、前年度比29万円減（ゼロ予測の予算比111万円増）となり、事業活動収入全体では前年度比ほぼ横ばいの26万円減（予算比180万円増）となった。一方、管理費を含む事業活動支出の合計では会議室利用の講演会や会食が無かったことによる会場費、交通費、理事費の支出減により、前年度比315万円減（予算比33万円減）となった。結果、2020年度の最終収支差額は前年度比289万円増（予算比180万円増）の205 万円となった。
第 3 号議案 2021 年度 事業計画 **【報告事項】**	定款の規定に基づき、「2021 年度事業計画」は理事会で承認済。 ２年前の「2019 年度事業計画」で承認された当協会 3 コア事業、① ラテンアメリカ情報の集積・発信（Information）、② ラテンアメリカ情勢等の研究・提言（Think Tank）、③ 出会いと交流の場の提供（Networking）の充実強化の実施 3年目。 ① 情報の集積と発信：各国商工会議所・シンクタンクとの連携、「時報」出版編集体制整備事業（仮）整備、10月以降の（リアル＋オンライン）ハイブリッド講演会実施、投稿欄寄稿

	者・中南米関連書籍執筆者によるトーク講演会（なるほどトーク、ブックトーク）開催、など。 ② シンクタンク機能：米 IAD との共催セミナー、カトリカ大学（ウルグアイ）や CARI（アルゼンチン）との提携強化、など。 ③ ネットワーキング：新型コロナ禍で中断、落ち着いた段階で再開。 運営体制： 事業永続化・収入拡大へのチャレンジ、など。
第 4 号議案 2021 年度 収支予算 **【報告事項】**	定款の規定に基づき、「2021年度収支予算」は理事会で承認済。 ＜2020年度比：収支計算書＞ 2021年度の事業活動収入は、コロナ禍ながらIAD共催セミナー含む講演会・セミナーへの協賛金獲得拡大を目指し、1,398万円（前年度比55万円増）と設定。事業活動支出も事業活動活発化を見込み、 収入見合いの1,398 万円と設定し、収支均衡とした。
第 5 号議案 理事選任の件 **【決議事項】**	現理事1名の再任

第 1 号議案

2021 年 6 月 25 日
一般社団法人ラテンアメリカ協会

（案）2020（令和 2）年度事業報告（4～3 月)

1． 2020 年実績概況（4～3 月）

(1) 会員数

- 今年度期首の 340 団体・個人に対し、3 月 31 日現在では 370 団体・個人（内訳 法人 76⇒78【(株）フランシール 9 月～、共同通信 3 月～】、個人 218⇒235、学生 5⇒11、在外 19⇒22、賛助（大使館） 13⇒14【駐日グアテマラ大使館 11 月～】、国別団体 9⇒9、図書館 0⇒1)。

(2) 事業活動（詳細後述）

- 講演会・セミナー オンライン開催：12 回（内 2 回は共催）・累計 592 人（共催除く、10 回：平均約 59 名/回）（前年 16 回 711 人：平均約 44 名/回）
- 大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム オンライン開催：3 回・累計 102 名（平均 34 名/回）（前年 3 回、97 名：平均 32 名/回）
- 米国インターアメリカン・ダイアログとの共催セミナーは 2020 年秋から延期となり、2021 年 2-3 月にリモートによるクローズドセッションのラウンドテーブル 3 回、オープンセッション 1 回を開催。
- 季刊誌「ラテンアメリカ時報」：4 回（春・夏：750 部、秋：650 部、冬：650 部）発行
- WEB 情報発信（HP・メルマガ・Facebook）：HP のトップ画面に新型コロナ関連情報を集中的に掲載。有識者インタビュー掲載開始 → 新型コロナ関連情報は 12 月より（トップ画面で該当箇所を選択した上で）遷移画面へ移動。
- 講演会などを ZOOM 利用によるオンライン形式で 9 月より再開（新規 ZOOM プロ＋参加者 500 名上限に拡張。1GB/回レベルの録画を新規の法人用 One Drive に格納。）講演会参加者リストの自動集計の開始。

2． 組織活動

(1) 2020 年度 定時会員総会：2020 年 9 月 4 日（金） 正会員数 309 名
出席 4 名（理事 3、会員 1)、委任 210、議決権行使 19；計 232 名

- 議 事

審議事項

第 1 号議案 2019 年度事業報告書の件・・・・・【報告事項】
第 2 号議案 2019 年度決算書類承認の件・・・・【決議事項】
第 3 号議案 2020 年度事業計画の件・・・・・・【報告事項】
第 4 号議案 2020 年度収支予算・・・・・・・・【報告事項】
第 5 号議案 定款一部改訂承認の件 ・・・・・・【特別決議】
第 6 号議案 理事・監事選任の件 ・・・・・・・【決議事項】

(2) 理事会

① 2020 年度 第 1 回 理事会（オンライン） ：2020 年 8 月 12 日 （水）

- 議 事

第 1 号議案 2019 年度事業報告・・・・・・・・ [承認事項]
第 2 号議案 2019 年度決算・・・・・ ・・・・・[承認事項]
第 3 号議案 2020 年度事業計画 ・・・・・・・・[承認事項]
第 4 号議案 2020 年度収支予算 ・・・・・・・・[承認事項]
第 5 号議案 定款改訂の件 ・・・・・・・・・・ [承認事項]

第 6 号議案 2020 年度理事・監事・顧問候補 ・・ [承認事項]
第 7 号議案 代表理事および業務執行理事の職務内容の報告

② 2020 年度 第 2 回理事会（オンライン）：2020 年 9 月 4 日（金）
● 議 事
第 1 号議案 会長（代表理事)、副会長、専務理事、常務理事の選定の件・・[承認事項]
第 2 号議案 顧問の選任の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ [承認事項]

③ 2020 年度 第 3 回理事会（オンライン）：2021 年 12 月 22 日（火）
● 議 事
第 1 号議案 2020 年度 4～11 月の事業執行状況の件 ・・・・[報告事項]
第 2 号議案 2020 年度 4～10 月の予算執行状況の件 ・・・・[報告事項]
第 3 号議案 代表理事および業務執行理事の職務執行報告・・・[報告事項]

(3) 常務理事会

＜常務理事会概要を理事・監事・顧問へメール案内開始＞
① 2020 年 5 月 19 日（火）
② 2020 年 6 月 24 日（水）
③ 2020 年 7 月 28 日（火）
④ 2020 年 8 月 26 日（水）
⑤ 2020 年 9 月 29 日（火）
⑥ 2020 年 10 月 29 日（火）
⑦ 2020 年 11 月 25 日（水）
⑧ 2020 年 12 月 16 日（水）
⑨ 2021 年 1 月 27 日（水）
⑩ 2021 年 2 月 24 日（水）
⑪ 2021 年 3 月 17 日（水）

(4) 監査報告書

● 2019 年度監査報告書：2020 年 8 月 5 日付
理事会その他の重要な会議に出席するなど、理事等と意思疎通を図り、会計帳簿、これに関する資料、その他重要な決裁文書及び報告書の閲覧・調査を行い、当法人の理事等から財産の状況並びに職務執行に関する報告を受け、必要に応じて説明を求め 2019 年度事業報告・計算書類・関連附属明細書・実施報告書、理事職務執行の監査を実施。

3. 会員状況（2021 年 3 月 31 日現在）

会員種別	2020.3 末	2020.4.1	2021.3.31	増減	会費未納者
法人会員	82	76	78	2	0（昨年同期０）
個人会員	239	218	235	17	0（同 15）
国別団体会員	9	9	9	0	0（同 0）
在外会員	23	19	22	3	0（同 4）
賛助会員（大使館）	13	13	14	1	0（同０）
賛助会員（学生）	10	5	11	6	0（同 4）
図書館会員	—	—	1	1	0
計	376	340	370	30	0（同 23）

４． 事業活動

(1) 講演会

開催実績（オンラインにより従来の約 40+/-10 名/回から約 60 名/回に増大）

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度 (*)	2020 年度 （4 月～9 月：ゼロ） 実質 10 月～3 月
開催回数	18	23	18	16	12（内 2 回は共催）
参加人数	936	1,231	892	711	592（共催 2 回を除く）
収　　益	992 千円	1,002 千円	594 千円	184 千円	30 千円（10 回分）

(*)2019 年 8 月より講演料の事前支払いシステムを稼働（クレジットカード、コンビニ払いなど)。

① 10 月 2 日「ラテンアメリカに活動を拡げる日本の ICT ベンチャー企業 2 社』」 【参加者】43 名
株式会社アルム 坂野 哲平 代表取締役・CEO
データセクション株式会社 平本 義人 取締役兼 COO

② 10 月 5 日「新型コロナウイルス感染症の中南米に及ぼす影響と日本の中南米外交」【参加者】123 名
外務省 中南米局長 林 禎二

③ 10 月 8 日「COVID-19 の影響 メキシコ経済変化と働き方」【参加者】61 名
東京コンサルティングファーム レオン代表 渡辺 寛氏

④ 10 月 27 日「ポスト・コロナのラテンアメリカ・カリブ地域を考える：IDB と日本の果たす役割」【参加者】76 名
保井俊之 前米州開発銀行（IDB）理事（クロアチア、韓国、スロベニア、日本、ポルトガル並びに英国代表)、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘教授

⑤ 11 月 12 日「グアテマラ：コロナ後を見据えた米州地域の魅力的な投資先」【参加者】73 名：無料
歓迎の辞 ペドロ・ブローロ 外務大臣
PRONACOM（国際競争力プログラム）によるプレゼンテーション
投資顧問 セリン・ムバラク氏
投資顧問 ナタリア・サマヨア氏
挨拶:駐日グアテマラ大使 クリストバル・エレラ氏

⑥ 11 月 26 日「エルサルバドル：ブケレ政権 1 年の軌跡」【参加者】44 名
前駐エルサルバドル日本国特命全権大使 樋口 和喜氏

⑦ 12 月 4 日「非鉄を中心とする南米の鉱業事情」【参加者】63 名
石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）細野哲弘 理事長（冒頭挨拶）
同 石炭開発部 石炭探査課長（前サンティアゴ事務所長）村上 尚義氏
同 資源探査部 探査第 1 課長 片山 弘行氏

⑧ 1 月 26 日「ペルーから帰国して」【参加登録者】東京商工会議所システム 約 190 名
前駐ペルー共和国日本国特命全権大使 土屋 定之氏

⑨ 3 月 8 日「わが国製造業企業の海外事業展開の調査報告」【参加者】34 名
国際協力銀行 企画部門調査部 第 1 ユニット長 春日 剛氏
同 調査員 中原えりか氏

⑩ 3月16日「時代を超え地場に定着する企業群」シリーズ第8回
「WEG社＆TMK社：ブラジル日系人の日本におけるビジネス展開」【参加者】38名
WEG Electric Motors Japan 社長 ムライ・イサム氏
TMK 社長 タドコロ・トミオ氏

⑪ 3月19日「パラグアイから帰国して」【参加者】38名
前駐パラグアイ日本国全権大使 石田 直裕氏

⑫ 3月26日「コロナ禍のアルゼンチン 政治・経済情勢」【参加登録者】東京商工会議所システム 194名
在アルゼンチン日本国大使館 大田 浩貴 二等書記官

(2) 法人会員異業種ラテンアメリカ情報交換会：2020年4月―2021年3月 なし

(3) 第6回IAD共催セミナー： 米IAD（インターアメリカン・ダイアログ）、伯CEBRI（ブラジル国際関係センター）との共催セミナー（リモート形式：IADのプラットフォーム）

① 2月25日 オープニング＋ラウンドテーブル1（参加 61名）
”The Free and Open International Order:Brazil-Japan-US Collaboration in a New Political Climate”「自由で開かれた国際秩序：新たな政治環境における日米ブラジル3国間連携」

Welcome : Michael Shifter, President, Inter-American Dialogue
Opening Remarks: Akira Yamada, Ambassador, Embassy of Japan in Brazil
Eduardo Saboia, Ambassador, Embassy of Brazil in Japan
Lead-off Remarks: Shigeo Yamada, Deputy Minister for Foreign Policy, Japan Ministry of Foreign Affairs
Shannon O’Neil, Senior Fellow for Latin America Studies, Council on Foreign Relations
André Corrêa do Lago, Ambassador, Embassy of Brazil in India; former Brazil Ambassador to Japan
Moderator: Margaret Myers, Director, Asia & Latin America Program, Inter-American Dialogue

② 3月4日 ラウンドテーブル2（参加 55名）
“Promoting Trade and Investment through Brazil-Japan-US Cooperation”
「日米ブラジル3国間協力を通した貿易・投資の促進」

Lead-off Speakers: Gabrielle Trebat, McLarty Associates
Toshifumi Murata, President, Câmara de Comércio e Indústria Japonesa do Brasil
Joao Carlos Ferraz, Associate Professor, Institute of Economics, UFRJ
Moderator : Larissa Wachholz, Senior Fellow at CEBRI / Special Advisor to the Minister (Agriculture, Livestock and Supply of Brazil)

③ 3月11日 ラウンドテーブル3（参加 57名）
“Promoting Tech Collaboration：Prospects for Stronger Brazil-Japan-US Engagement”
「ハイテク分野での連携促進：日米ブラジル3国間連携強化の展望」

Lead-off speakers：David Hirschmann, AMCHAM head of tech, former head of Amcham Brazil
Teppei Sakano, Allm Inc.
Celso Sato, Accesstage
Oliver Stuenkel, FGV
Moderator : Kazuko White, Senior Fellow, JALAC

④ 3 月 23 日公開セミナー（参加　310 名強）
「変貌する国際政治環境における日米ブラジル 3 国間協力の展望」
“Prospects for US-Japan-Brazil Cooperation in a Shifting International Political Environment"

開会の辞：アンドレ・コレア・ド・ラーゴ ― 駐インド・ブラジル大使、前駐日ブラジル大使
基調講演：林 禎二 ― 外務省中南米局長
パネリスト：
マルシア・ドネル・アブレウ ― ブラジル外務省アジア大洋州ロシア担当副次官 (大使)
タチアナ・プラゼレス ― 対外経済貿易大学（北京）シニアフェロー, 元 WTO 事務局長上級アドバイザー、元ブラジル通商長官
ジュリー・J・チャン ― 米国国務省米州担当首席国務次官補代理
中村 圭介 ― 米州開発銀行（IDB）アジア事務所所長
モデレーター：マイケル・シフタ ― インターアメリカン・ダイアログ会長
閉会の辞：佐藤悟 ― ラテンアメリカ協会副会長、前駐スペイン・駐ブラジル日本大使

(4)　ラテンアメリカ関連団体連絡会議

① 2020 年 9 月 11 日　第 31 回ラテンアメリカ関連団体会議
② 2020 年 12 月 11 日　第 32 回ラテンアメリカ関連団体会議
③ 2021 年 3 月 5 日　第 33 回ラテンアメリカ関連団体会議

※参加登録団体・機関（17 団体・2 機関）
京都ラテンアメリカ文化協会、日本アルゼンチン協会、グァテマラ・マヤ文化協会、
日本コロンビア友好協会、日本チリ協会、日伯協会、日本ペルー協会、日本ニカラグア友好協会、
日本・パナマ友好協会、日本パラグアイ協会、日本ブラジル中央協会、日本ベネズエラ協会、
日本ボリビア協会、メキシコ・日本アミーゴ会、日本・ドミニカ共和国友好親善協会、
ラテンアメリカ協会、外務省中南米局、米州開発銀行（IDB）アジア事務所
・・リモート会議により、京都ラテンアメリカ文化協会に定常的に参加頂けるようになった。

(5)　その他（後援・協力事業）：
名義貸し後援：ラテン・フェスティバル 2021 in お台場 Tokyo（於：お台場デッキ）
2021 年 5 月 1-4 日(土-火)・・中止
主　催： ラテン・フェスティバル実行委員会／日本ラテンアメリカ文化交流協会

(6)　出版事業

ラテンアメリカ時報（協会季刊誌、年 4 回発行）
① 4 月 25 日 2020 年春号 (1430)
「特集 ラテンアメリカをめぐる騒乱の背景を探る」
② 7 月 25 日 2020 年夏号 (1431)
「特集　ラテンアメリカ二大国ブラジル・メキシコ 1 年半の通信簿」
「緊急レポート　ラテンアメリカでの新型コロナウイルス禍」
③ 10 月 25 日 2020 年秋号 (1432)
「特集　新型コロナウイルス感染症があぶり出したラテンアメリカのジレンマ」
④ 1 月 25 日 2020/21 年冬号（1433）
特別レポート：2020 年から 2021 年のわが国の対ラテンアメリカ外交 林 禎二
「インタビュー特集 新型コロナウイルスとの対峙 －ラテンアメリカの現場の声を聴く」

(7)　WEB 広報事業

①　ホームページ:

1. トップページの改訂：中南米新型コロナ感染状況の表示・情報掲載→12 月より移動
2. 有識者インタビュー新設
3. 投稿欄：エッセイ 51 本、レポート 27 本を掲載（2021 年 3 月 10 日現在）
4. HP での賛助会員（駐日大使館）リストを法人会員リストの後に掲載
5. 海外シンクタンクとの連携強化：ウルグアイカトリカ大学

②　フェイスブック：イベント案内等、各種情報の発信

③　メルマガ：新着情報を配信（定期：毎週火曜日、不定期：講演会開催案内など）

5.　ラテンアメリカ・カリブ研究所

研究所所長　堀坂浩太郎
研究顧問　　細野昭雄
シニア研究所員　　桑山幹夫
シニア研究所員　　桜井悌司
シニア・フェロー　　ホワイト和子

(1)　事業：大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム

①　第 12 回例会 2020 年 9 月 15 日(火) 17:15-18:30　【出席者】33 人
ZOOM 会議室「ブラジルのマクロ経済状況」
講師：拓殖大学 国際学部 准教授（上智大学 非常勤講師）竹下 幸治郎氏

②　第 13 回例会 2020 年 10 月 19 日(月) 10：15～11：30　【出席者】34 人
ZOOM 会議室「2020 年米国大統領選にみるラテン系有権者の影響力」
講師：ラテンアメリカ・カリブ研究所シニア・フェロー　ホワイト 和子氏

③　第 14 回例会 2021 年 1 月 18 日(月) 10：00～11：30【出席者】35 名（講師除く）
ZOOM 会議室「国民投票後のチリの政治経済情勢」
講師：日智商工会議所副会頭、智利三菱商事社長　大纐　匡氏

(2)　研究論文（下線の論文は一般公開）

① 4 月 6 日「ラテンアメリカへ拡散する新型コロナウイルスのインパクトとその対応策 (上)」
桑山幹夫
② 4 月 18 日「ラテンアメリカへ拡散する新型コロナウイルスのインパクトとその対応策 (下)」
桑山幹夫
③ 5 月 20 日「中米パナマの新型コロナウイルス対策について」
ルベン ・ロドリゲズ・サムディオ（北海道大学法学研究科研究員）
④ 6 月 1 日「新型コロナ禍とラテンアメリカ・カリブ:感染爆発防止と経済再開のジレンマ」
桑山幹夫
⑤ 6 月 12 日＜ワシントン報告＞「コロナ禍後のグローバリゼーションに関する一考」
ホワイト和子
⑥ 6 月 24 日「年金制度に及ぼすコロナ禍のインパクト―中米パナマの事例」
ルベン ・ロドリゲズ・サムディオ（北海道大学法学研究科研究員）

⑦ 7月1日<ワシントン報告>「次期米州開発銀行の総裁選を巡る喧噪― 米トランプ政権が異例の推薦」ホワイト和子

⑧ 8月3日「ラテンアメリカにおける孔子学院の活動」桜井悌司

⑨ 8月11日「ラテンアメリカに問われるコロナ禍後の開発パラダイム・シフト」桑山幹夫

⑩ 9月4日<ワシントン報告>「米国の新開発援助機関、DFC の活動」ホワイト和子

⑪ 10月21日<ワシントン報告>「2020 年米大統領選におけるラテン系有権者の影響力」ホワイト和

⑫ 11月10日「新憲法制定の是非を問うチリ国民投票：その結果と今後の展望」桑山幹夫

⑬ 11月16日<ワシントン報告>2020 年選挙を振り返って「これが我々の姿である」
マイケル・シフター：Inter-American Dialogue 代表（ホワイト和子抄訳）

⑭ 1月20日「バイデン新政権下の米国およびラテンアメリカと日本との通商関係における RCEP の締結の重要性について」桑山幹夫

以　上

第2 号議案

2020（令和元）年度決算書（案）

一般社団法人ラテンアメリカ協会

一般社団法人 ラテンアメリカ協会

貸 借 対 照 表

令和 3年 3月31日現在

（単位 ： 円）

科　　目	当年度	前年度	差異
Ⅰ．資 産 の 部			
1．流 動 資 産			
現　金　預　金	8,480,320	6,000,604	2,479,716
未　収　会　費	140,000	140,000	0
未　収　金	1,322,009	540,960	781,049
前　払　費　用	175,500	175,500	0
仮　払　金	165,862	165,849	13
流動資産 合計	10,283,691	7,022,913	3,260,778
2．固 定 資 産			
（1）有形固定資産			
什　器　備　品	204,056	0	204,056
有形固定資産 合計	204,056	0	204,056
（2）その他固定資産			
差 入 保 証 金	625,000	606,400	18,600
その他固定資産 合計	625,000	606,400	18,600
固定資産 合計	829,056	606,400	222,656
資　産　合　計	11,112,747	7,629,313	3,483,434
Ⅱ．負 債 の 部			
1．流 動 負 債			
預　り　金	7,472	3,736	3,736
未　払　金	288,329	301,272	△ 12,943
前　受　会　費	3,142,000	1,697,000	1,445,000
流動負債 合計	3,437,801	2,002,008	1,435,793
負　債　合　計	3,437,801	2,002,008	1,435,793
Ⅲ．正 味 財 産 の 部			
1．一般正味財産			
正味財産合計	7,674,946	5,627,305	2,047,641
負債及び正味財産合計	11,112,747	7,629,313	3,483,434

一般社団法人 ラテンアメリカ協会

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から 令和 3年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目	当年度	前年度	差異
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1)経常収益			
①法人会費収入	8,925,000	8,280,000	645,000
②個人会費収入	2,395,000	1,878,000	517,000
③事業収入	349,700	323,620	26,080
④受託調査・セミナー収入	30,000	1,058,000	△ 1,028,000
⑤受託収入	0	0	0
⑤広告収入	320,000	400,000	△ 80,000
⑥フォーラム収入	300,000	350,000	△ 50,000
⑦雑収入	1,111,914	1,398,524	△ 286,610
受取利息	95	96	△ 1
雑収入	1,111,819	1,398,428	△ 286,609
経常収益計	13,431,614	13,688,144	△ 256,530
(2)経常費用			
①事業費	5,856,944	8,514,384	△ 2,657,440
諸謝金	3,300,865	2,899,324	401,541
印刷費	1,793,000	1,803,800	△ 10,800
通信費	355,436	330,827	24,609
旅費・交通費	700	1,205,022	△ 1,204,322
受託事業費	0	0	0
フォーラム経費	0	156,737	△ 156,737
雑費	304,917	2,118,674	△ 1,813,757
減価償却費	102,026	0	102,026
②管理費	5,527,029	6,017,688	△ 490,659
諸謝金	2,337,220	2,041,751	295,469
理事費	0	284,210	△ 284,210
借室光熱費	2,145,836	2,172,009	△ 26,173
旅費・交通費	204,468	465,380	△ 260,912
備品費	72,918	0	72,918
リース料	95,598	93,312	2,286
公租公課	70,000	70,000	0
雑費	600,989	891,026	△ 290,037
③減価償却費	0	0	0
什器備品減価償却費			0
ソフトウェア減価償却費			0
経常費用計	11,383,973	14,532,072	△ 3,148,099
当期経常増減額	2,047,641	△ 843,928	2,891,569
2．経常外増減の部			0
(1)経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外収益			0
経常費用計			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,047,641	△ 843,928	2,891,569
一般正味財産期首残高	5,627,305	6,471,233	△ 843,928
一般正味財産期末残高	7,674,946	5,627,305	2,047,641
Ⅱ 正味財産期末残高	7,674,946	5,627,305	2,047,641

一般社団法人 ラテンアメリカ協会

財 産 目 録

令和 3年 3月31日現在

（単位 ： 円）

科　　目		金　　額		
Ⅰ. 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
現金		15,103		
普通預金				
三菱東京UFJ銀行	渋谷支店	8,465,217		
未収会費				
法人会員	1件	140,000		
未収金				
コンサルタント料他	Inter American Dialogue	1,111,819		
令和3年度分会費他	SMBCGMOペイメント	154,230		
その他		55,960		
前払費用				
家賃令和3年4月分	二菱地所プロパティマネジメント	175,500		
仮払金				
令和3年度経費		162,100		
源泉所得税及び復興税	麹町税務署	3,762		
流動資産合計			10,283,691	
2. 固定資産				
（1）有形固定資産				
什器備品				
PC		204,056		
（2）その他固定資産				
差入保証金				
事務所敷金	二菱地所プロパティマネジメント	625,000		
固定資産合計			829,056	
資産合計				11,112,747
Ⅱ. 負債の部				
1. 流動負債				
預り金				
源泉所得税	従業員等	7,472		
未払金				
法人税等	千代田都税事務所	70,000		
令和2年度 経費		218,329		
		288,329		
前受会費				
法人会員	40件	2,040,000		
個人会員	116件	1,102,000		
		3,142,000		
流動負債合計			3,437,801	
負債合計				3,437,801
正味財産				7,674,946

財務諸表に対する注記

1．重要な会計方針

① 計算書類及びその附属明細書の作成基準

一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成している。

② 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定額法による減価償却を実施している。

③ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式による。

附　属　明　細　書

1．固定資産の明細

（単位：円）

区　分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額
有形固定資産	什器備品	0	306,082	0	102,026	204,056
	合　計	0	306,082	0	102,026	204,056

一般社団法人 ラテンアメリカ協会

収 支 計 算 書

令和 2年 4月 1日から 令和 3年 3月31日まで

（単位 ： 円）

科 目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅰ 事業活動収支の部				
１．事業活動収入				
①法人会費収入	**8,270,000**	**8,925,000**	**△ 655,000**	
②個人会費収入	**2,025,000**	**2,395,000**	**△ 370,000**	
③事業収入	**320,000**	**349,700**	**△ 29,700**	
④受託調査・セミナー収入	**400,000**	**30,000**	**370,000**	
⑤広告収入	**320,000**	**320,000**	**0**	
⑥フォーラム収入	**300,000**	**300,000**	**0**	
⑦雑収入	**100**	**1,111,914**	**△ 1,111,814**	
受取利息	100	95	5	
雑収入	0	1,111,819	△ 1,111,819	
事業活動収入計	**11,635,100**	**13,431,614**	**△ 1,796,514**	
２．事業活動支出				
①事業費	**5,900,000**	**5,754,918**	**145,082**	
諸謝金支出	2,800,000	3,300,865	△ 500,865	
印刷費支出	1,900,000	1,793,000	107,000	
通信費支出	350,000	355,436	△ 5,436	
旅費・交通費支出	100,000	700	99,300	
フォーラム経費支出	150,000	0	150,000	
雑費支出	600,000	304,917	295,083	
②管理費	**5,710,000**	**5,527,029**	**182,971**	
諸謝金支出	2,000,000	2,337,220	△ 337,220	
理事費支出	400,000	0	400,000	
借室光熱費支出	2,180,000	2,145,836	34,164	
旅費・交通費支出	250,000	204,468	45,532	
備品費支出	210,000	72,918	137,082	
リース料支出	100,000	95,598	4,402	
公租公課支出	70,000	70,000	0	
雑費支出	500,000	600,989	△ 100,989	
事業活動支出計	**11,610,000**	**11,281,947**	**328,053**	
事業活動収支差額	**25,100**	**2,149,667**	**△ 2,124,567**	
Ⅱ 投資活動収支の部				
差入保証金支出	0	18,600	△ 18,600	
什器備品購入支出	0	306,082	△ 306,082	
投資活動支出計	**0**	**324,682**	**△ 324,682**	
投資活動収支差額	**0**	**△ 324,682**	**324,682**	
当期収支差額	**25,100**	**1,824,985**	**△ 1,799,885**	
前期繰越収支差額	**5,020,905**	**5,020,905**	**0**	
次期繰越収支差額	**5,046,005**	**6,845,890**	**△ 1,799,885**	

収支計算書に対する注記

収支予算書及び収支計算書は「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に準拠して作成している。

1　重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

現金預金、未収会費、未収金、前払費用、前払金、仮払金、預り金、未払金、仮受金、前受会費を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記２に記載する通りである。

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2　次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期末残高
現金預金	6,000,604	8,480,320
未収会費	140,000	140,000
未収金	540,960	1,322,009
前払費用	175,500	175,500
仮払金	165,849	165,862
合計	7,022,913	10,283,691
預り金	3,736	7,472
未払金	301,272	288,329
前受会費	1,697,000	3,142,000
合計	2,002,008	3,437,801
次期繰越収支差額	5,020,905	6,845,890

2021年5月24日

監査報告書

一般社団法人　ラテンアメリカ協会
会長　佐々木　幹夫　殿

一般社団法人　ラテンアメリカ協会
監事 安藤　泰志
監事 棟方 直比古

私ども監事は、2020年度の一般社団法人ラテンアメリカ協会の事業報告書、計算書類および附属明細書、理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1　監査の方法及びその内容

監査の方法は、理事会その他の重要な会議（リモート）に出席するほか、電磁的方法等で、理事等から事業報告を聴取、また重要書類を閲覧し業務の執行状況を監査し、各種計算書類と関連資料（財産目録等）、その他重要な決裁文書及び報告書の閲覧・確認するなど、必要と思われる監査を行いました。

2　監査の結果

(1) 事業報告書および附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示していることを確認いたしました。
(2) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書およびその附属明細書は、会計帳簿の記載と合致し、本法人の収支及び財産の状況を適正に表示されていることを確認いたしました。
(3) 理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認めます。
(4) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。

以上

（署名）安藤泰志　印

（署名）棟方直比古　印

第 3号議案

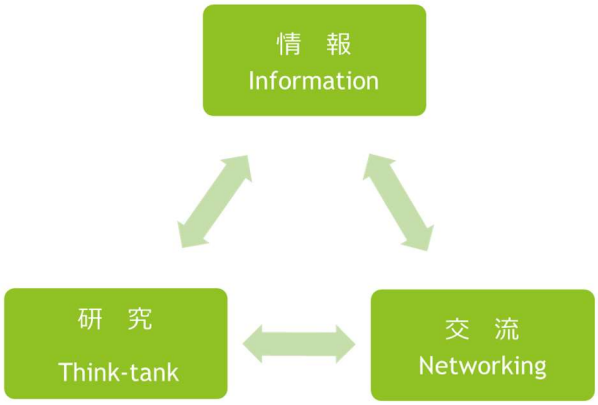
2021（令和3）年度事業計画（案)

＜2019年度からの事業計画の一層の推進と体制充実＞

＊網掛け部　　過年度に対応・実施済
＊青マーカー部　2021年度推進・計画中

1.　事業領域の拡充：

ラテンアメリカ地域への関心向上と関係強化の実現のため、以下の通り、協会活動の3大領域である情報・研究・交流の一層の拡充を図るとともに、そのための体制充実を目指す。



2.　ラ米関連情報の集積と発信（Information）

□　ホームページ等の拡充（WG活動活性化）
　→コンテンツ充実（有識者インタビュー新設）、スマホ対応化、
　　英語サイト充実：各国商工会議所/シンクタンクとの連携
　→フェイスブック、新着情報デザイン更新、
□　ラテンアメリカ時報
　→レベルの維持・向上、
　→編集体制の組織化→出版編集体制整備事業（仮）
□　講演会・セミナー（WG：アクティブに活動中）
　→9月まで/オンライン、10月以降/オンライン・リアルのハイブリッド
　→投稿欄寄稿者による講演
　→中南米関連新著著者によるブックトーク（学会との繋がり）
　→無料・安価会場の確保

3.　ラ米情勢等の研究と提言（Think-Tank）

□　シンクタンク機能の強化→重点施策の一つ
□　ラテンアメリカ・カリブ研究所
　→研究員のリクルート：White氏/シニア・フェロー、
　　研究成果の発信（8→10）
□　大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム
　→継続的な実施（年4回）
□　内外のシンクタンク・研究機関、ラテンアメリカ関連学会等との連携
　→IADとの共催セミナーの継続（2021年度：MOFA予算約4百万円確保済）
　→シンクタンクとの協力覚書：COMEXI、CARI更新、カトリカ大学　　（ウルグアイ）
□　調査研究・セミナー等の受託事業
　⇒受託事業入札参加

4. 出会いと交流の場の提供（Networking）→コロナ禍で、活動制限

□ 日本人・会員同士の交流
→新春懇談会（年1回）、ラテンアメリカ・サロン（年1回）、
ラ米関連団体連絡協議会（年４回）
→異業種ラ米情報交換会の定期開催（年３回）、講演会後のネットワーキング懇親会
□ ラ米各国関係者との交流
→駐日大使館との共催事業（**グアテマラ2020年度実施済**）、
来日要人とのラウンド・テーブル
→在日日系人団体との協力
□ ラ米協会自体のネットワークの拡大
→講演会等の共催、調査研究等の受託
政府機関、政府系機関、経済団体、ラ米主要国にある日本商工会議所
大学・研究機関、ラ米関連団体、~~地方展開など~~

5. 事業・運営体制の強化

□ 事業永続化（維持発展）の為の体制・収入拡大の課題へのチャレンジ
（例） 時報編集体制刷新
□ 理事体制刷新⇒懇談会開催（4回/年）
□ 法人会員及び個人会員の維持・拡大策
→図書館会員（大学・公共図書館）の新設（会費年10,000円・「時報」各2冊）
⇒2030目標（SDGｓ）、法人100（2021年度期首73） + 個人等400（同230）
□ 主要事業毎にワーキング・グループ（WG）活性化
→狙いは、運営体制の強化＋意欲ある会員の協会事業への参加促進。
WG：ラ米時報、講演会、HP・ネットワーキング
□ 事務局機能の強化
→人的・インフラ整備
□ 会費・講演会参加費の新徴収システムの導入

以上

第4号議案

2021年度　収　支　予　算　書

2021年 4月 ～2022年 3月

(単位：円)

科 目	2021年度 予算額	2020年度 決算額	差　異	備　考
Ⅰ事業活動収支の部				
１．事業活動収入				
法人会費収入	8,425,000	8,925,000	△ 500,000	
個人会費収入	2,465,000	2,395,000	70,000	
事業収入	320,000	349,700	△ 29,700	
講演会・セミナー収入	550,000	30,000	520,000	
受託収入	0	0	0	
広告収入	320,000	320,000	0	
フォーラム収入	300,000	300,000	0	
雑収入	1,600,100	1,111,914	488,186	
受取利息	100	95	5	
雑収入	1,600,000	1,111,819	488,181	
事業活動収入計	**13,980,100**	**13,431,614**	**548,486**	
２．事業活動支出				
①事業費	**7,510,000**	**5,754,918**	**1,755,082**	
諸謝金支出	3,550,000	3,300,865	249,135	
印刷費支出	1,900,000	1,793,000	107,000	
通信費支出	350,000	355,436	△ 5,436	
旅費・交通費支出	1,000,000	700	999,300	
フォーラム支出	0	0	0	
受託事業費支出	0	0	0	
雑費支出	710,000	304,917	405,083	
②管理費	**6,470,000**	**5,527,029**	**942,971**	
諸謝金支出	2,500,000	2,337,220	162,780	
理事費支出	100,000	0	100,000	
借室光熱費支出	2,300,000	2,145,836	154,164	
旅費・交通費支出	500,000	204,468	295,532	
備品費支出	100,000	72,918	27,082	
リース料支出	100,000	95,598	4,402	
公租公課支出	70,000	70,000	0	
雑費支出	800,000	600,989	199,011	
事業活動支出計	**13,980,000**	**11,281,947**	**2,698,053**	
事業活動収支差額	**100**	**2,149,667**	**△ 2,149,567**	
差入保証金・什器備品購入支出		**324,682**		
当期収支差額	**100**	**1,824,985**	**△ 1,824,885**	
前期繰越収支差額	**6,845,890**	**5,020,905**	**1,824,985**	
当期繰越収支差額	**6,845,990**	**6,845,890**	**100**	

一般社団法人ラテンアメリカ協会 2021年度理事・監事候補（案）

◎ 新任理事(再任)

1	理事		佐々木 幹夫	三菱商事（株）元会長
2	理事		佐藤 悟	三菱重工業（株）顧問、元駐ブラジル・スペイン大使
3	理事		堀坂 浩太郎	ラテンアメリカ・カリブ研究所所長、上智大学名誉教授
4	理事		佐々木 修	元三菱商事（株） 理事
5	理事		岩見 元子	元（一財）海外投融資情報財団 上席特別研究員
6	理事		桑山 幹夫	神戸大学経済経営研究所フェロー、元CEPAL上級経済問題担当官
7	理事		桜井 悌司	元関西外国語大学教授、元日本貿易振興機構（JETRO）監事
8	理事		桜井 敏浩	徳倉建設（株） 特別顧問
9	理事		遅野井 茂雄	筑波大学名誉教授
10	理事		工藤 章	元三菱商事（株）理事
11	理事		今野 秀洋	元経済産業審議官
12	理事		田中 径子	日産フィナンシャルサービス執行役員、前駐ウルグアイ大使
13	理事		富田 宏	PwCアドバイザリー合同会社インフラストラクチャー部門 ディレクター
14	理事		村上 秀徳	元駐チリ大使 、元農林水産審議官
15	理事	◎	森田 嘉彦	元（株）国際協力銀行（JBIC）副総裁
16	理事		山岸 豊生	豊田通商（株）渉外部 海外渉外室中南米地域担当部長
17	理事		峯苫 彰悟	元中国三菱商事（北京）金属部長、元伯国三菱商事リオデジャネイロ支店
1	監事		安藤 泰志	元駐ニカラグア大使
2	監事		棟方 直比古	元日本・東京商工会議所エクゼクティブ・コーディネーター

1	顧問	伊藤 昌輝	日本ベネズエラ協会会長, 元駐ベネズエラ大使
2	顧問	小川 元	元駐チリ大使、元衆議院議員
3	顧問	河嶋 正之	元日本貿易振興機構（JETRO）メキシコ事務所長
4	顧問	河村 建夫	衆議院議員、元内閣官房長官
5	顧問	式部 透	前米州開発銀行（IDB）アジア事務所長
6	顧問	田中 克之	（公財）海外日系人協会理事長、元駐スペイン大使
7	顧問	寺田 輝介	元駐韓国・メキシコ大使、元（公財）フォーリン・プレスセンター理事長
8	顧問	藤島 安之	イービストレード株式会社取締役、元駐パナマ大使、元通産大臣官房審議官
9	顧問	細野 昭雄	国際協力機構（JICA）研究所 シニア・リサーチ・アドバイザー、 元駐エルサルバドル大使

（参考）一般社団法人ラテンアメリカ協会 2020 年度役員

下線 任期中

会長（代表理事）	佐々木 幹夫	三菱商事（株）元会長
副会長・理事	佐藤 悟	三菱重工業（株）顧問、元駐ブラジル・スペイン大使
副会長・理事	堀坂 浩太郎	ラテンアメリカ・カリブ研究所所長、上智大学名誉教授
専務理事	佐々木 修	元三菱商事（株） 理事
常務理事	岩見 元子	元（一財）海外投融資情報財団 上席特別研究員
常務理事	桑山 幹夫	神戸大学経済経営研究所フェロー、元 CEPAL 上級経済問題担当官
常務理事	桜井 悌司	元関西外国語大学教授、元日本貿易振興機構（JETRO）監事
常務理事	桜井 敏浩	徳倉建設（株） 特別顧問
理事（新）	遅野井 茂雄	筑波大学名誉教授
理事	工藤 章	元三菱商事（株）理事
理事（新）	今野 秀洋	元経済産業省審議官
理事（新）	田中 径子	日産フィナンシャルサービス執行役員、前駐ウルグアイ大使
理事（新）	富田 宏	PwC アドバイザリー合同会社 ディレクター インフラストラクチャー部門
理事	中村 圭介（★）	米州開発銀行（IDB）アジア事務所所長
理事（新）	村上 秀徳	元駐チリ大使 、元農水省審議官
理事	森田 嘉彦	東京ガス（株）監査役、元（株）国際協力銀行（JBIC）副総裁
理事（新）	山岸 豊生	豊田通商（株）渉外部 海外渉外室中南米地域担当部長
事務局長・理事（新）	峯苫 彰悟	元中国三菱商事（北京）金属部長、元伯国三菱商事リオデジャネイロ支店
監事（新）	安藤 泰志	元駐ニカラグア大使
監事（新）	棟方 直比古	元日本・東京商工会議所エクゼクティブ・コーディネーター

（★）中村理事は 2021 年 6 月末退任

顧問（新）	伊藤 昌輝	日本ベネズエラ協会会長, 元駐ベネズエラ大使
顧問（新）	小川 元	元駐チリ大使、元衆議院議員
顧問（新）	河嶋 正之	元日本貿易振興機構（JETRO）メキシコ事務所長
顧問	河村 建夫	衆議院議員、元内閣官房長官
顧問	式部 透	前米州開発銀行（IDB）アジア事務所長
顧問	田中 克之	（公財）海外日系人協会理事長、元駐スペイン大使
顧問	寺田 輝介	元駐韓国・メキシコ大使、元（公財）フォーリン・プレスセンター理事長
顧問（新）	藤島 安之	イービストレード株式会社 取締役、元駐パナマ大使、元通産大臣官房審議官
顧問（新）	細野 昭雄	国際協力機構（JICA）緒方研究所 シニア・リサーチ・アドバイザー、 元駐エルサルバドル大使

＜ブランク＞